



第82号

令和4年5月発行

第82号 目次

P1	表紙 第82号・・・「光」に向かって走れ！！	(やすらぎの郷)
P2	理事長あいさつ やまも DAYS・・・コロナ禍でも前向きに	(楊梅苑)
P3	きらめく時の中で・・・コロナ禍での施設行事 ～秋・冬～	(やすらぎの郷)
P4	虹色の谷から・・・多様性が認められる社会へ ～視点を変える～	(第二やすらぎの郷)
P5	くるま椅子少し前進・・・施設での暮らしをHAPPYに ～施設内GOTOトラベル～	(第三やすらぎの郷)
P6	青戸にひびく声・・・私たちの働く場所	(おおいワークセンター)
P7	びわのみ・・・卒園児紹介	(大島認定こども園)
P8	虹のかけはし / 伝言板・編集後記	

理事長あいさつ

理事長 角野 元保

令和4年度にあたり一言ご挨拶を申し上げます。平素は法人本部及び各施設の経営並びに運営につきましては、格別のご協力、並びにご指導を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年、60種類あります十干と十二支の組み合わせの中、壬寅（みずのえとら）と言って60年に一度の非常に縁起の良い年（干支）であり、還暦のお祝いは干支の組み合わせが一巡したことを意味するそうです。

昨年度から新型コロナウイルス感染症対策を最優先に看護職員を中心として、職員、保護者、関係者の皆様のご理解とご協力のもと、感染予防対策の基礎であります手洗い、マスク着用、消毒等の基本動作の徹底等引き続き実施しております。利用者の皆様には、窓越しの面会、楽しみにしていた諸行事又帰省、外泊等が出来ずに寂しい昨年でありましたが、一方でドライブ外出、体育館でのレクリエーション等少しでも楽しく過ごせるようにさせて戴きました。只々終息を願うばかりです。

職員採用が難しい昨今、人材確保は緊急の課題になっております。職員の定着、職場改善、職員のスキルアップ、経営の安定と直面する課題も多岐にわたり、蓄積されていきます。職員の採用、職員の定着、職場改善を当面の課題と位置付け、利用者皆様の笑顔と居心地が良い生活、個々に合わせたサービスの向上、又職員の

皆様には当法人が望む職員像を目指して、働きやすい、雰囲気が良い、生き甲斐が感じられる職場作り等の改善に向けて誠実に取り組んでいきます。

今、「地域共生社会」が求められています。関係機関のご指導を頂きながら環境整備、人材確保の難しさはありますが、それに向けての取り組みをしたいと考えています。

かねてより申請しておりました福祉車両2人乗りワゴン車を過日3月24日公益財団法人24時間テレビ「愛は地球を救う」44チャリティー委員会株式会社福井放送 代表取締役社長 池内昭彦様より寄贈を賜りました。厚く御礼を申し上げますと共に大切に活用させて頂きたいと思っております。

社会福祉法人に求められる事業は多々ありますが、地域に貢献できる施設、なくてはならない施設を目指しながら関係機関の皆様はもとより、地域の皆様方、ボランティアの皆様方の暖かいご理解とご指導を賜りながら、役・職員共に微力ながらチャレンジしていきます。最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸とより一層のご繁栄をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

楊梅苑



コロナ禍でも前向きに！



令和3年10月と11月に映画会が行われました。なかなか外出もできず、ご家族様にも会えない中、辛い日々が続いている利用者様にとってもちょっとした息抜きになりました！



11月22日に「法要」が行われました。楊梅苑で亡くなられた利用者様を供養、参列頂いた利用者様のご焼香を行いました。皆様 hands を合わせて亡くなられた方へ拜まれている姿は印象的でした…

12月22日には、少し早めのクリスマス会を開きました 🎄

この日の昼食のメニューはクリスマスらしい、華やかなご馳走が並びました。(@^^)/

そして、ささやかなプレゼントも、利用者様一人一人へ配られました。皆様、コロナ禍でも前向きに、元気で笑顔で頑張っておられ、素敵だなと思いました…♥



きらめく時の中で やすらぎの郷

10月27日 ミニ運動会



10月28日 ハロウィン



ミニ運動会、ハロウィン行事で2日間たっぷり堪能しました。ミニ運動会では思いっきり体を動かし、ハロウインは利用者様それぞれがコスプレしユニークな姿を披露してくれました。写真撮影も盛り上がりました。

11月25日 秋祭り



12月24日 クリスマス会



少し肌寒い中でしたが、屋台も出店し、お祭りを思う存分楽しみました。

花澤さんに来ていただき、ミニコンサートをしていただきました。利用者様は「楽しかった!」と満足気でした。

1月12日 新年会 (会食)



2022年、年も明け世間は大変な中ですが、食の楽しみは奪えません!! バッチリ感染症に配慮し、美味しい料理を頂きました。

まだまだ、気の抜けない日々が続きますが、利用者様に安心して頂けるよう、スタッフは感染症対策に努め、2022年も利用者様と共に歩んで参ります。新型コロナウイルスによる閉塞感に負けないよう、スタッフは知恵を絞り昨年よりも充実した支援・行事運営に努めていきます!!



虹色の谷から

いつもお世話になり、有り難うございます。

皆さん、障害の社会モデルについてご存知ですか？障害のない人を前提に作られた社会の作りや仕組みに原因があるという考え方です。個人の生き方ジェンダーについても同じことが言えると思います。障害があることや男に生まれた事、女に生まれたことによって何かを諦めなければいけないといったことはないと思います。諦めなければいけないとしたら、社会や環境が原因です。生き方は自由です。個人の価値観でつくられた「普通」に囚われず、社会が多様性を受け入れ、変化していくことが大事であると考えます。

コロナ禍で未曾有の事態が続いておりますが、こんな時であるからこそ、柔軟な心を持ち、時には視点を変えてみることも大事であると感じることがありました。

当施設の利用者A様が急に布団をいらないと言ったり、濡らすようになったことがありました。自閉症スペクトラムに詳しい、嶺南こころの病院の作業療法士谷元氏にお聞きしたところ「布団を着て寝ないといけな法律はないですからね」とのこと。「たしかに」と腑に落ちました。こうでなければいけないと思っていたものでも、視点を変えてみるとまた違ったものに見えるかもしれません。



「多様性を受け入れるということは色々な視点でものをみるということ」を教えてもらったような気がします。このように日々勉強し、考えながら、利用者支援を行っています。

また、第二やすらぎの郷ではノーマライゼーション（広義で解釈した社会的マイノリティを含めた人たちに一般市民と同じノーマルの生活や権利が保障されるよう、環境を整備すること）を大切にしています。

利用者様にも私達と同じように季節を感じてほしいとの思いで、春であれば花見、夏であれば七夕記念撮影、秋はハロウィン会、冬であればクリスマス会等と沢山の行事を楽しんで頂いています。外出があまりできない分、バスドライブに行ったり、夏は水遊びをしたり、冬は雪遊びをしたり。施設で過ごしているから何もできないではなく、様々なことを1年間通して経験して頂けるように、日々色々と工夫を凝らしています。

自然いっぱいこの施設でのびのびと。大人も子供も元気いっばいに暮らしています。美味しい給食を食べて、沢山遊んで。そんな当たり前の日々を大切に、これからも職員一同支援に努めて参りたいと思います。 次号もお楽しみに☆



くるまいす少し前進



第三やすらぎの郷



少しずつコロナウイルスが落ち着き始めたと思われ始めた頃に、新たなる変異ウイルスの出現…オミクロン株が出現しまだまだ警戒が必要な状態となっております。

そんな中ですが、施設での暮らしをHAPPYに☆利用者の皆様が日々を楽しく、自分らしく生活できるよう職員一同支援に励んでいます。

12月23日にクリスマス忘年会が開催されました。去年のクリスマス忘年会ではコロナの影響でリモート参加となり、直接来ていただくことが出来なかった買い物ボランティアの皆様が、今年は施設に来て頂く事ができました。とってもユニークな踊りから始まり血回しなどを披露して下さい、久しぶりの交流に利用者の皆様及び職員も楽しませて頂きました。

そして1月5日の新年会では第三やすらぎの郷の中にやすらぎ神社が造営されました。鳥居からお社まで全て職員の手作り。施設にいてGOTOトラベルが出来ちゃいました。ちゃんとお賽銭箱も設置してあります。絵馬も書いて頂きました。神社にみんなでお参りした後はお汁粉を飲んでホッと一息。

その他には施設内園芸でチューリップの球根を植えたりかすみ草や矢車草等、沢山のお花を植えました。ハロウィンでは皆さんで仮装をして仮装行列をしました。施設での生活の中でも四季が感じられるように、今後も様々な行事を実行予定です。

近年、地域移行支援が推奨される中施設職員として施設の役割を考えさせられます。地域移行はとても大切な事ではありますが、ご家族様・利用者様にとって施設はなくてはならない物だと思っています。施設だからしょうがない・出来ないではなく、施設だからこそ出来る…そんな事をどんどん増やしていける、そんな施設でありたいと思います。





青戸にひびく声

おいワークセンター

おいワークセンターは就労移行事業・就労継続支援B型事業・生活介護事業と3つの事業をしています。今回はそれぞれの事業の内容を紹介させていただきます。

就 労 移 行 支 援 事 業

定員は8名で現在4名の方が利用されています。就労移行支援は一般就労を目指している方が職業訓練を行います。おいワークセンターでの内容は施設内・外作業（ハウス清掃・おい町特産品の梅ゼリーやへしこ茶漬け、チップスの梱包作業を中心に行う作業訓練をはじめ、個々に応じて必要なスキルを身に付けるために個人のニーズに沿った支援を実施しています。また、職場実習・職場探しをするためハローワークへの付き添いを行います。今年度は6月に1名が就職されました。1月現在もがんばっておられます。就職後も半年間サポートさせていただきます。



キャンプ場ハウス清掃



おい町特産品梱包作業



レジャー施設管理



老健、伝票処理

就 労 継 続 支 援 B 型 事 業

定員は25名で現在27名の方が利用されています。就労継続支援B型事業では、障がいや難病をお持ちの方に作業の提供を行っており、働いたお給料は「工賃」という形で支給されます。作業の内容は洗濯業務と清掃業務で、洗濯業務は各施設（同法人入所施設・おい町老健・小浜市の濱の湯やデイサービス等から委託された洗濯物や一般の布団やカーペット等の洗濯業務全般を利用者様と職員で行っています。また清掃作業はおい町内の公共施設・委託を受けた施設の清掃を行っています。働く事を通して利用者様の生活が充実できるよう支援しています。



洗濯作業



配達作業



清掃作業



生 活 介 護 事 業

定員が6名で現員も6名で活動しています。自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるよう、常時介護を要する利用者様に対して、身辺面、食事の介護、創作活動や軽作業の機会の提供を行っています。活動の内容は個々人のニーズに応じた活動が主で、作業が出来る方には作業を、また折り紙や塗り絵、歩行や施設外へ出向くこともあります。利用者様が1日を有意義に過ごせるよう支援しています。

そ の 他

10月には旅行の代わりにBBQを行いました。天候にも恵まれ、ひと時の時間を楽しく過ごせたと思います。また、12月には利用者忘年会を行いました。美味しい食事にケーキバイキングをして、ゲームはプレゼントタワーとトントン相撲を個人、グループで競い合いました。笑い声があふれる時間を過ごし利用者様も日頃の疲れが癒せたと思います。今後もおいワークセンター職員一同、利用者様が豊かな生活を送れるよう支援していきたくておりますのでご指導、ご支援の程よろしくお願いたします。



バーベキュー



プレゼントタワー



トントン相撲



トーナメント

びわのみ



大島認定こども園



卒園児の紹介 ①こども園での思い出 ②将来の夢



あかみね がくくん

- ①いちご狩りで友達と歌を歌ったり、たくさん食べたこと。
- ②野球選手



もりした りゅうせいくん

- ①すごろくで遊んだこと。
- ②ボクシングで1番強くなりたい!



なかむら まりかちゃん

- ①青戸ベイサイドヒルズでウサギを触ったこと。
- ②3歳児クラスの先生 (絵本を読んであげたい)



ふくしま なつちゃん

- ①エルドランドの遊具でおかあさんごっこをしたこと。
- ②パン屋さん



おおつか りほちゃん

- ①お泊り保育のお化け屋敷が怖かったけど1番楽しかった。
- ②看護師さん



おがわ ここみちゃん

- ①遠足でいっぱい遊んだこと。
- ②5歳児さんの先生



いけがみ かなめくん

- ①おりがみで遊んだこと。
- ②恐竜博物館の博士



ないとう えいじくん

- ①お泊り保育で友達と一緒に寝たこと。
- ②野球選手



あおた そうすけくん

- ①いちご狩りでたくさん食べたこと。
- ②コックさん



にしお あおしくん

- ①エルドランドの大きなすべり台が楽しかった。
- ②警察官

担任からのメッセージ

毎日元気いっぱいの10名の子も達がたくさん笑顔と元気をもらいました。温かい言葉や優しい姿がたっぷりの素敵なクラスです。毎日一緒に過ごすなかでの、何気ない会話や元気いっぱい遊ぶ姿が可愛くて、それが何よりの思い出です。

みんなの素敵な夢が叶いますように・・・



虹のかけはし

ありがとうございました

令和3年9月1日～令和4年1月31日

やすらぎの郷	第二やすらぎの郷	第三やすらぎの郷	楊梅苑	大島認定こども園
★寄付 モスチキン 愛フードサービス モスバーガー小浜店 ★奉仕・交流 散髪 大飯いこい会 ハートフル 交流 花澤 栄子 法人本部 ★寄付 角野 元保 暁産業株式会社	★寄付 衛生・防護用品 小浜市役所 (高齢・障がい者元氣支援課) 衣類 名田庄診療所 小林・安田 クリスマスプレゼント 関西電力大飯発電所 労働組合大飯支部 クリスマスケーキ 住友生命 福井支社 モスチキン 愛フードサービス モスバーガー小浜店	★寄付 モスチキン 愛フードサービス モスバーガー小浜店 布・生地 市村ソーイング お菓子 福井県遊技業協同組合 若狭支部 衣装・時計 森下 鈴子 ★奉仕・交流 散髪 ピース アコ 地域交流 観音講出講のご住職 買い物ボランティア	★寄付 タオル 中西 秀和 巾着袋 藤澤 静代 マスク 田中百合子 ★奉仕・交流 草刈り ひまわり会 散髪 大飯理容美容師会 繕い物・怒ふき おおい町赤十字奉仕団	★奉仕・交流 交流 大島小学校

※敬称は省略させていただきました

伝言板

令和3年9月1日～令和4年3月31日

採用

R03/11/01付 おおいワークセンター 職業指導員 國松 幸恵
 R03/11/01付 楊梅苑 看護職員 海透 早苗

異動
 R04/12/01付 やすらぎの郷生活支援員より第三やすらぎの郷生活指導員 日永田 健

退職

R03/09/30付 楊梅苑 介護職員 中尾真理子
 R03/10/24付 第三やすらぎの郷 生活支援員 飯田 大
 R03/12/12付 楊梅苑 介護職員 中河 萌苗
 R03/12/31付 友愛会相談支援センター 相談支援専門員 藤田 健志
 R04/02/25付 第三やすらぎの郷 生活支援員 小林栄美子
 R04/03/31付 第二やすらぎの郷 生活支援員 政道 愛

定年退職

R04/03/31付 楊梅苑 施設長 新谷 正広

編集後記

寒さが厳しかった今冬もようやく終わり、新年度がスタートしました。外の景色も綺麗な春色に染まってきました。春色というと、桜のピンク、野原の緑などが連想されますね。色には五感に働きかける効果があるそうです。視覚的な効果を例であげてみると、白は清潔、赤は情熱、緑は安らぎ、ピンクは可愛いなど。食欲のない時は、テーブルまわりを食欲増進効果のあるオレンジ色に変える、眠れない時は、寝具を精神安定効果のある青色にするなど、それぞれの色の効果に頼ってみるのも良いかもしれません。

また、その瞬間、自分が好む色は自分自身の波長と合う、体が求めている色だそうです。何となく気分の良い色は積極的に取り入れたいものです。



やすらぎの郷

第二やすらぎの郷

大島認定こども園

友愛会相談支援センター

楊梅苑

第三やすらぎの郷

学童保育

ホーブル

おおいワークセンター

大島子育て支援センター